

大垣市新エネルギービジョン(素案)パブリックコメントの実施結果について

1 実施概要

- (1) 実施方法 大垣市パブリックコメント手続要綱によるもの
 (2) 実施期間 平成 25 年 12 月 24 日(火)～平成 26 年 1 月 24 日(金)
 (3) 意見を求めた計画 大垣市新エネルギービジョン (素案)

2 実施結果

【申出者数：3名 意見提出件数：5件】

	意見の概要	市の考え方
1	スマートグリッドについても検討してほしい。	本計画では、短期（～2020年度）及び中期（2021年度～2030年度）において、スマートコミュニティの形成を目指しております。スマートグリッドはその形成過程において整備されるべき項目として検討いたします。
2	策定の背景に地下水に対するこれまでの考え方と検討課題を追加してほしい。過去に地下水の過剰採水により水位が低下したことを鑑み、有効活用していくことが検討課題であると考えます。	「これまで家庭や産業において井戸水を多く利用し、地下水位の低下がありました。現在は事業者の自主的な揚水規制や産業の撤退などにより、地下水位は戻りつつあります。」と本計画第3章の地域の現況に追加いたします。 地下水の有効活用については、地下水の利活用と保全の両立を図れるような施策展開を検討いたします。
3	本市のエネルギー需要特性と課題に次の課題を追加してほしい。産業部門での水を活かした循環システムの見直しや民生家庭部門での「水と緑の工夫」。	地下水の利活用と保全の両立を図れる施策を外部組織等で検討いたします。
4	目的に応じた数値目標をもつことが必要ではないか	本ビジョンでは、市のエネルギー政策の方向性を示すため省エネルギー・新エネルギー導入量等を目標値として設定しており、個別施策の目標値については、施策を進める上で検討いたします。
5	省エネ対策や新エネ推進について長期に進める必要があり、子どもへのエネルギー教育が必要ではないか。	家庭や学校でのエネルギー教育は、プロジェクトとして位置付けており、具体的な施策の内容について、今後検討してまいります。